



KAZUNO
FACTBOOK

2021 秋田県鹿角市

問い合わせ先



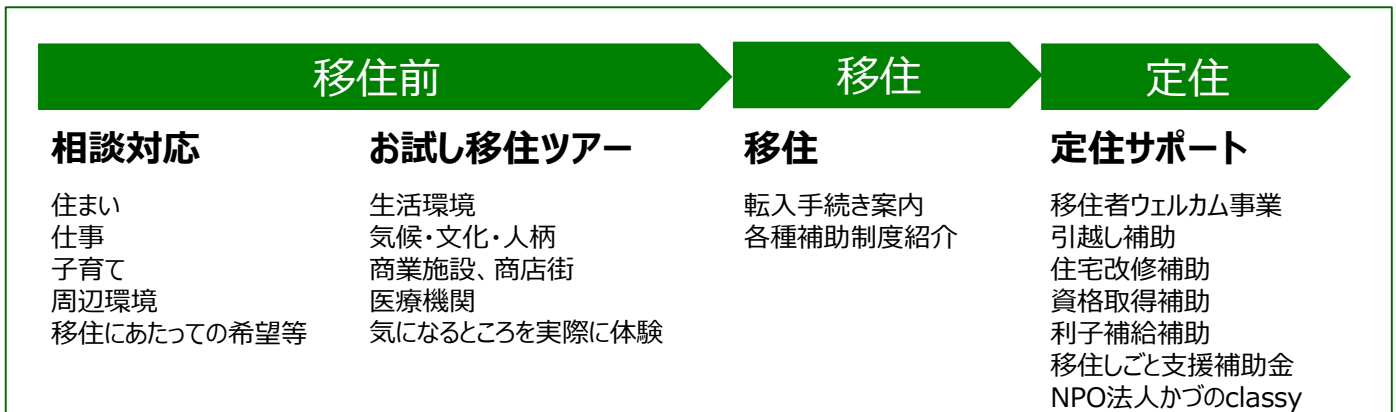
鹿角ライフ促進班について

鹿角市役所総務部政策企画課内にある移住定住専門の相談窓口。
鹿角市はかつて鉱山により繁栄を極めました。鉱山の閉山とともに人口減少が進み、まちの賑わいや地域活力が減退しつつあります。
その課題認識から、鹿角ライフの良さを多くの人に知ってもらい、移住及び定住人口を増やすことを目的として平成27年度に開設しました。

現在、メンバーは5名。うち3名は移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）。



■ 移住サポートの流れ



■ 詳細情報

鹿角市移住定住支援サイト「鹿角暮らし」

<https://kazuno-gurashi.jp/>

鹿角市移住コンシェルジュFacebook

<https://www.facebook.com/kazunolifesokushin/>

鹿角市鹿角ライフ促進班LINE公式アカウント

LINEアプリ内で「鹿角市 鹿角ライフ促進班」を検索

または、LINEアプリ内ID検索で「@kazuno-life」を検索してください

<お問い合わせ先>

秋田県鹿角市役所政策企画課鹿角ライフ促進班

担当: 木村 TEL: 0186-30-0208 (受付時間/平日8:30~17:15)

E-mail : k-life@city.kazuno.lg.jp

鹿角市へのアクセス



アクセス

高速道路

鹿角市内には東北自動車道鹿角八幡平ICと十和田ICがあります。

- 仙台宮城IC → 鹿角八幡平IC
(距離:約260キロメートル/所要時間:約3時間)
- 盛岡IC → 鹿角八幡平IC
(距離:約80キロメートル/所要時間:約1時間)
- 青森IC → 十和田IC
(距離:約80キロメートル/所要時間:約1時間)

高速バス

- 盛岡駅前 → 鹿角花輪駅前(みちのく号)
(所要時間:約1時間25分)
- 池袋駅西口 → 鹿角花輪駅前(ジュピター号)
(所要時間:約8時間25分)

鉄道

鹿角市内にはJR花輪線が通っており、鹿角花輪駅、十和田南駅などがあります。

- 東京駅 → 盛岡駅(東北新幹線・秋田新幹線)
(所要時間:約2時間45分)
- 盛岡駅 → 鹿角花輪駅(JR花輪線)
(所要時間:約1時間50分)

空港

大館能代空港(あきた北空港)が便利です。

- 東京(羽田) → 大館能代空港
(所要時間:約1時間10分)
- 大館能代空港 → 鹿角市(所要時間約60分)

東京から片道最短約2時間！

東京からの所要時間は最短で約2時間(大館能代空港を利用した場合)。
池袋からの夜行バスを利用すれば、乗り継ぎ不要でリーズナブルな行き来が可能です。

北東北の主要都市へも約1時間

高速交通に恵まれている本市は、東北自動車道のICが2か所あり、岩手県盛岡市や青森県青森市といった東北の主要都市へも約1時間圏内です。

鹿角市の概要



秋田県鹿角市

1972年（昭和47年）4月 花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村が合併し、発足
北東北3県のほぼ中心に位置

- ・面積：707.52km²（面積の広さは県内の市町村で8番目）
- ・総人口：29,566人（2021年3月末現在）
- ・人口密度：41.7人/km²
- ・病院：かづの厚生病院、鹿角中央病院、大湯リハビリ温泉病院、他個人病院
- ・教育・学校：保育園：8園、幼稚園：1園
小学校：6校、中学校：4校、高校：2校
- ・主なIC：鹿角八幡平IC、十和田IC
- ・主な駅(JR)：鹿角花輪駅、十和田南駅
- ・主な特産品：きりたんぼ（発祥の地）、かづの北限の桃、鹿角りんご、
松館しぼり大根、淡雪こまち、かづの牛、八幡平ポーク
- ・主な景勝地：十和田湖、八幡平、湯瀬渓谷
- ・主な観光施設：道の駅かづの、道の駅おおゆ、史跡尾去沢鉱山、中滝ふるさと学舎、旧関善酒店
- ・主な祭り：大日堂舞楽、花輪ばやし、大湯大太鼓祭り、毛馬内盆踊
- ・主な温泉地：八幡平温泉郷、湯瀬温泉郷、大湯温泉郷
- ・主な遺跡：大湯環状列石
- ・主なスキー場：花輪スキー場、水晶山スキー場、八幡平スキー場

鹿角市の気候



年平均気温は約9度。寒暖の差が大きく、降水量は年間約1400mm、積雪は平地で約65cm、降雪期間は12月から3月までです。

秋田地方気象台 鹿角観測地点（1981-2010）の気候													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平均最高気温℃	0.6	1.7	5.6	13.9	19.6	23.7	26.6	28.4	23.7	17.3	10.0	3.5	14.5
日平均気温	-3.0	-2.4	0.9	7.6	13.4	18.1	21.5	22.9	18.0	11.1	4.9	-0.2	9.4
平均最低気温	-7.3	-6.9	-3.8	1.7	7.6	13.1	17.3	18.5	13.2	5.9	0.4	-3.9	4.7
最低気温	-22.4	-19.6	-16.8	-9.9	-1.8	3.2	8.1	8.6	1.4	-2.3	-11.4	-16.6	-22.4

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/nml_amd_ym.php?prec_no=32&block_no=0185&year=&month=&day=&view=

出典：気象庁

鹿角市移住コンシェルジュ



○地域おこし協力隊 (移住に特化した業務を行う)

自らが移住者。市職員や市民が気付きにくい魅力の発見・情報発信や、移住検討者への親身な相談対応やフォローアップなど幅広い活動を行う。

- ・ 移住者からの相談対応（移住ワンストップ窓口）
- ・ 鹿角市の移住や暮らしの情報発信。
（移住定住支援サイト、Facebook、Instagram、LINE公式アカウント、YouTube）
- ・ 受入体制の整備（移住者ネットワーク&移住・定住サポーター）=NPO法人かづのclassyとの連携。
- ・ 体験型プログラム提供
- ・ 宅地・建物データバンクの運営
- ・ 各種提案、地域特性理解のためのイベント従事



任用期間	人数
H27~29年度	4人
H29~R1年度	2人
H30~R1年度	1人
R1~	1人
R2~	2人



フォロワー数

- Facebook 鹿角市移住コンシェルジュ 1,484人
- Facebook 鹿角家ページ 271人
- Facebook かづのclassy 434人
- Instagram 鹿角市移住コンシェルジュ（公式）830人
- LINE公式アカウント 680人
- YouTube
「鹿角市移住コンシェルジュ眞鍋雄次の部屋」 51人
「鹿角市移住コンシェルジュ#地域おこし協力隊」147人

★鹿角市移住定住支援サイト「鹿角暮らし」

11,200PV/月

NPO法人かづのclassy



○移住定住サポート団体

移住コンシェルジュOB・OGが中核となり、市民や市民団体、事業主などを巻き込んで立ち上げたNPO法人。移住定住事業を中心に活動。

■市では各種事業を業務委託

1) 移住促進業務委託

- ・移住相談窓口の開設／相談員の配置（R3年度 263日／年間）
- ・移住フェアへの出展補助
- ・ツアー等の企画運営補助／当日アテンド
- ・空き家バンクの運営

2) 関係人口「鹿角家」の業務委託

- ・ツアー・イベント企画運営／メルマガ配信／関わりしらの発掘・マッチング

■法人活動

- ・イベント企画運営（会員・移住者 ⇄ 地域住民・団体・企業）
- ・小中学校等への講師・講演
- ・県、民間シンクタンクの移住関連事業の受託



○移住コンシェルジュOB・OGの退任後の状況

退任者8名のうち5名が定住し、活躍中。

- ・木村前コンシェルジュ「月と山社」（アウトドア体験企画提供）／市内福祉法人
- ・早川前コンシェルジュ「ツカイテ」（農業コンサルタント）
- ・松村前コンシェルジュ「燻製屋 猫松」燻製食品の製造販売
- ・勝又前コンシェルジュ 農家手伝い／地元コミュニティFMパーソナリティ
- ・菅原前コンシェルジュ「ゆっこでいあんと」（国内旅行業）

令和3年度 移住促進の取り組み



○移住相談、移住支援

- ・2名の移住コンシェルジュ(地域おこし協力隊)が移住者目線で対応

○情報発信

- ・SNS (Facebook、LINE、Instagram、YouTube) やメルマガ、ブログ等
- ・各種移住関連フェアへの出展

○移住体験機会の提供

- ・お試し移住ツアー
- ・いつでもお試し移住ツアー
- ・しごと×移住体験ツアー
- ・お試し住宅

○定住支援

- ・移住者ウェルカム事業
- ・ふるさとライフ補助金
(引越し、空き家改修、利子補給、移住しごと支援金)
- ・宅地建物データバンク (空き家バンク)
- ・NPO法人かづのclassyとの連携

○その他

- ・関係人口「鹿角家」
- ・若者世代ふるさとネットワーク
- ・移住促進協議会
- ・各種講師対応による啓発
(行政視察対応、学校関係等)



今年度の主な事業



○ 一般社団法人日本シングルマザー支援協会との連携 「子育てママ応援移住ツアー」

- ・会員数6,000人を超える一社) 日本シングルマザー支援協会とのコラボ企画。
- ・オンラインによる移住相談会を開催。移住という選択肢を具体的にイメージしやすいよう講演を行うほか、市内事業者の参加により、「仕事」も紹介・個別相談あり。もちろん、本市の「子育て環境」の充実もPR。

➤本市を訪れる移住体験ツアーを「夏」「冬」の2回実施。

夏) 生活環境のほか、保育園や子育て支援施設、事業所などを見学。

冬) 雪国の暮らしを体験。除雪作業、雪遊び、冬期間の道路状況や通学路など、鹿角の「冬」を実際に体験。

○ 出会い応援移住ツアー

- ・市外在住の独身者を招いた婚活ツアー

○ いつでもお試し移住体験ツアー

- ・参加者の希望する日程、行程にて実施するオーダーメイド式ツアー。
- ・夕食には先輩移住者や先輩起業家など、参加者のニーズに合わせたゲストを招いて交流会も実施。



○ classyとの連携

- ・すべての事業において、classyが企画・運営で連携。
- ・移住コンシェルジュOB・OGのノウハウや人脈を生かした事業実施。

移住促進の実績



※R3.5.6現在

移住者数の推移

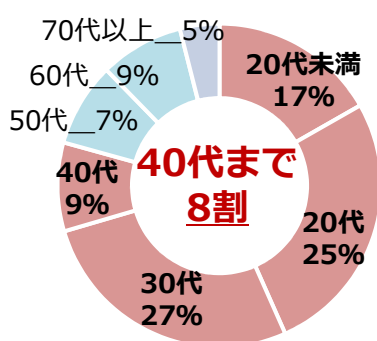
年度	移住者数
平成27年度	7世帯 15人
平成28年度	26世帯 49人
平成29年度	31世帯 51人
平成30年度	35世帯 54人
令和 元年度	38世帯 56人
令和 2年度	39世帯 61人
令和 3年度	5世帯 17人
合計	181世帯 303人

移住の形態

形態	移住人数
Iターン	153人
Uターン	141人
県内	9人

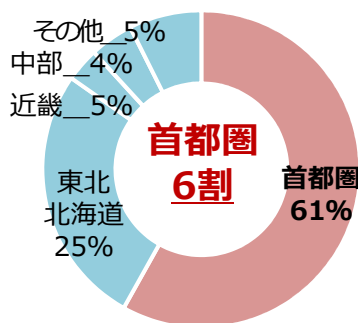
※3人家族(父、母、子)移住で、母が本市出身者の場合、Uターン・母1人、Iターン・父と子2人でカウント(秋田県準拠)

移住者全体の年齢構成



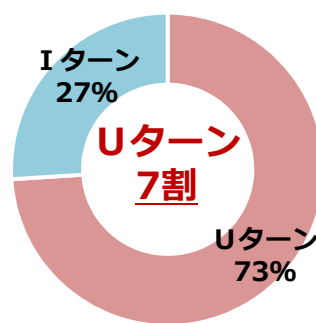
▶子育て世帯が全体の8割を占めます。労働年齢層としても、働き盛りのゾーンです。

移住前の居住地



▶首都圏からの移住者が全体の6割を占めており、様々な職歴を持たれる方が多い印象です。

ターン形態 (世帯)



▶Uターン世帯が7割を超えています。

相談件数

※鹿角ライフ促進班に電話、メール、FAX等で問い合わせがあった件数。

年度	件数
平成27年度	89件
平成28年度	222件
平成29年度	235件
平成30年度	270件
令和元年度	218件
令和2年度	163件

移住体験機会の提供



定期ツアー ▶

期間や内容を定めて開催するお試し移住ツアー。（企画運営委託）

▶メディア媒体を利用し、全国的な認知度向上のためのシティプロモーションツアー。

・日経BP社 雑誌「日経WOMAN」タイアップツアー／リクルート社 雑誌「ゼクシー」タイアップツアー／風土社 雑誌「チルチンびと」タイアップツアー／TOKYO FM／（一社）日本シングルマザー支援協会

▶本市の未婚男子とのマッチングを狙い、都会女性を対象に婚活ツアーを例年実施。

・婚活ツアー

年度	実施回数	参加者数
平成27年度	5回	11組14人
平成28年度	5回	22組24人
平成29年度	3回	28組30人
平成30年度	3回	14組19人
令和 元年度	3回	15組15人
令和 2年度	4回	22組37人
令和 3年度		
合計	23回	112組139人

年度	実施回数	参加者数
平成27年度	2回	2組3人
平成28年度	5回	5組6人
平成29年度	11回	14組21人
平成30年度	6回	6組12人
令和 元年度	7回	7組8人
令和 2年度	4回	4組6人
令和 3年度		
合計	35回	36組56人

◀いつでもお試し移住ツアー

参加希望者の希望される日程や内容に沿ってオーダーメイドで実施するお試し移住ツアー。

・随時受付で、移住コンシェルジュがツアー企画運営、アテンド。

・空き家バンク物件めぐり／保育園視察／小学校授業視察／農業体験 など、様々な要望に応える。

令和元年度より、新たに「しごと×移住体験」に特化したメニュー追加。

・体験行程を職業体験、職場見学等に特化。「しごと」をメインにした要望に対応。

お試し住宅～鹿角の暮らし体験～

短期滞在から長期（最長1年）滞在まで低料金で入居し、より日常に近い暮らしを体験。



年度	利用者数	利用泊数	稼働率
平成27年度 (10月14日～)	4組12人	91泊	52.9%
平成28年度	9組26人	198泊	54.4%
平成29年度	13組17人	192泊	52.6%
平成30年度	14組21人	149泊	40.8%
令和元年度	7組12人	135泊	36.9%
令和2年度	3組 4人	158泊	43.2%
合計		923泊	46.2%

▶利用料：1泊～7泊まで2,000円／日 8泊～29泊まで1,000円／日 30日以上 30,000円／月

定住のための支援



宅地・建物(空き家)データバンク

空き家の利活用を目的に運用。
市と協定締結をした市内不動産事業者10社と連携しており、物件登録の際に事業者の仲介を選択できる。登録作業はNPO法人かつのclassyへ業務委託しており、現地確認、物件情報の作成、HPへの掲載・更新などを行っている。



年度	登録件数		売却件数		賃貸件数		成約件数
	土地	建物	土地	建物	土地	建物	
～26年度※	12件	39件	2件	7件	0件	16件	25件
平成27年度	0件	10件	0件	0件	0件	6件	6件
平成28年度	1件	13件	1件	6件	0件	3件	10件
平成29年度	0件	25件	2件	8件	0件	5件	15件
平成30年度	2件	28件	1件	15件	0件	2件	18件
令和 元年度	1件	27件	0件	8件	0件	2件	10件
令和 2年度	1件	23件	1件	12件	0件	5件	18件
令和 3年度							
市有	8件	0件	—	—	—	—	—
合計	25件	165件	7件	56件	0件	39件	102件

※H19年度～26年度までは、「かつのdeライフ_田舎のねじろ」（観光交流課）として運用。
H27年度より、鹿角ライフ促進班へ移管し、「宅地・建物データバンク」として運用。

住宅改修支援補助金

移住者が空き家バンク物件等を賃貸・購入した際に、改修費用を補助。（補助率10/10）

- ▶ 空き家バンク物件
 - 購入の場合 上限額100万円
 - 賃貸の場合 上限額 50万円
- ▶ 協定締結不動産事業者の物件
 - 購入の場合 上限額 50万円

年度	件数
平成27年度	2件
平成28年度	1件
平成29年度	5件
平成30年度	5件
令和 元年度	3件
令和 2年度	5件
令和 3年度	
合計	21件

定住のための支援（続き）



引越し支援補助金

県外からの移住者の引越し費用を助成。(補助率1/2、上限額9万円)

年度	件数
平成28年度	16件
平成29年度	19件
平成30年度	31件
令和 元年度	36件
令和 2年度	37件
令和 3年度	
合計	139件

移住者融資資金利子補給費補助金

提携銀行の移住者向け融資に係る利子を補給。

年度	件数
平成29年度	4件
平成30年度	4件
令和 元年度	0件
令和 2年度	5件
令和 3年度	
合計	13件

資格取得補助金

起業を前提とした資格取得に関する費用を補助(上限年間30万円・2年まで)

年度	件数
平成28年度	1件
平成29年度	1件
平成30年度	3件
令和 元年度	1件
令和 2年度	0件
令和 3年度	
合計	6件

鹿角市ふるさとライフ移住しごと支援補助金

内閣府の地方創生移住支援事業。東京圏より本市に移住し、就業した場合に単身60万円、世帯100万円を支給。

年度	件数
令和元年度	0件
令和2年度	1件
令和3年度	
合計	1件

移住者ウェルカム事業

移住コンシェルジュと共に、市内の店舗や個人事業所などを訪問しながら町を巡る。各協力事業者より特産品などプレゼントがある。



年度	件数
平成28年度	13件
平成29年度	14件
平成30年度	11件
令和 元年度	10件
令和 2年度	3件
令和 3年度	
合計	51件



関係人口「鹿角家」

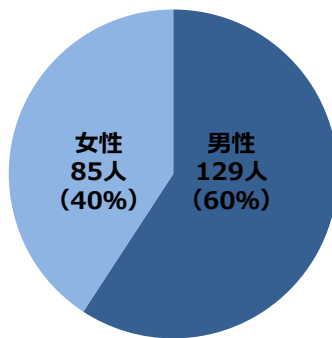
関係人口＝「家族」 家族で支えあう

観光が目的の交流人口以上、移住人口未満の「関係人口」に着目した取り組み。

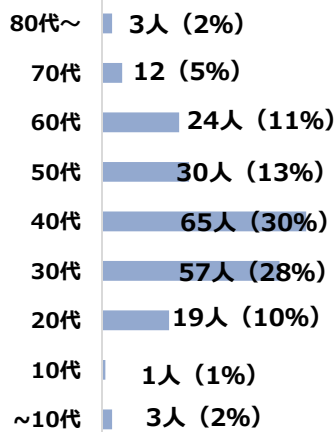
移住は出来ない／鹿角には戻れない／田舎が欲しいといった方々へ、移住はしなくても、地域に愛着を持ち、つながり続けたいという想いを受け止める仕組みづくりを構築。

「離れていても支えあう。それは家族のようなつながり」をテーマに、関係人口を家族の関係性に落とし込むことで、イメージしやすいものとしている。

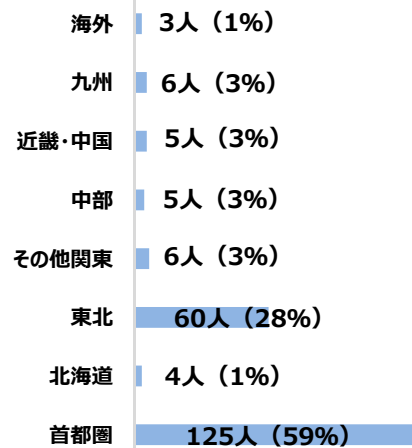
■ 家族数 214人



■ 年齢構成比



■ 地域構成比



家族のルール「家訓」

一、家族ながよくすべし
鹿角を愛する会員同士、仲良く

一、困ったときは、しげでけれ
鹿角の困り事には、力を貸して

一、たまに実家さ、顔っこだしえ
鹿角家へ時には、顔を出して

鹿角家
家訓

家族の証「家族証」



メルマガ「家族通信」の配信

家族限定のメールマガジン「家族通信」を発行。交流会やイベントなどのお知らせのほか、「関わりしろ」などを配信。月1回程度の配信となっており、これまでに12回発行。

総務省「関係人口」創出モデル事業の採択を受け、事業実施。

関係人口と地域をつなぐ「関わりしろ」

家族の「困った」を助け合い。

関係人口が地域と接点を持つための「関わりしろ」。地域の弱み、抱える問題をオープンに助けを求め、家族がもつ、様々なスキルやマンパワーとのマッチングにより、課題解決に繋げる取り組み。

地域を回り「関わりしろ」をヒアリング。SNSやメルマガ（家族通信）にて、情報を発信。決して、無償のボランティアではなく、鹿角でしか体験できないモノ・コトをリターンに、楽しみながら関わるのが理想。

【関わりしろマッチング事例】

■首都圏物販イベント

- 市の観光PRスタッフ
- 着ぐるみの誘導
- 物販スペースの整列・誘導
- 【リターン】
- 家族会議の参加費無料



■チラシ/POPのデザイン・作成

- ツアーで交流・お世話になったお礼
- 自身のスキルを活かして、商品チラシ・POPを無料でデザイン。
- 【リターン】
- ・写真撮影に使う商品（りんご・桃など）

■市内での食品加工（農業法人/個人事業）

- いぶりがっこ作りの手伝い
- 燻製商品の製造手伝い
- 【リターン】
- ・宿泊場所の提供
- ・収穫野菜/商品のお土産



家族の集まり「家族会議」

首都圏で年1回以上開催する交流会。リピーターと初参加する家族など毎回、新たな交流が生まれる。鹿角家の唄の作成/家紋（ロゴマーク）選定/家訓など、家族会議で話し合い決めている。



「#オンライン帰省」 リモートによる家族との交流

新型コロナウイルス感染症の影響により、帰省が出来ない・訪問できない家族に向けてZOOMを使い、リモート交流を3回実施。市の桜の名所を複数ライブ配信するなど、家族のリクエストに答えている。



実家暮らし体験ツアー

実家「鹿角市」を実際に訪れ、魅力に触れて貰うツアー。毎回、講師を招き「関係人口」を学びつつ、地元支援団体（親戚会議）との交流会など、鹿角に愛着を持ってもらうツアー。





NATURE

自然

【春】桃でお花見

春には桃の花とリンゴの花でお花見。



【夏】深緑

夏には鹿角が深い緑に包まれます。



秋には美しい紅葉が広がります。【秋】紅葉

【冬】雪の回廊

高さ6mにもおよぶ雪の壁が姿を現します。
春が近づくと桜とともに楽しむこともできます。

見どころ
エリア

八幡平山頂付近



OUTDOOR

アウトドア



鹿角は全域がアウトドアアクティビティのフィールドです。地域ごと、季節ごとに、自分好みの楽しみ方ができます。



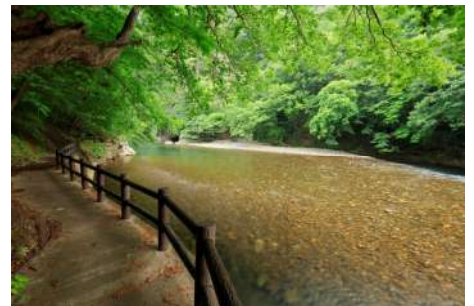
森林セラピー

鹿角には森林セラピーの拠点が2つあり、呼吸法やリラックスを促すプログラムを森林コンダクターから教えてもらえます。日々のストレスを健康的に解消することができます。



トレッキング

大谷地湿原、黒谷内湿原、長沼、八幡沼など、豊かな緑の中、トレッキングを楽しめます。トレッキングのあとには体を癒す温泉へ。



溪流釣り

米代川本流、大湯川、夜明島川、熊沢川など、鹿角には美しい溪が数多くあり、イワナ、ヤマメ、鮎釣りなどを楽しむことができます。シーズン中はほどよい賑わいで、じっくりと釣りを楽しむことができます。



山菜採り

鹿角は山菜の宝庫です。採取できる山菜は、コゴミ、サシドリ、タラの芽、シドケ、タケノコ、フキ、ミズ、など実に様々。多くの人が山菜取りに魅了されています。山菜取りはレジャーとしてだけでなく、生業としての一面もあります。



キャンプ

北側の十和田湖近くに「中滝ふるさと学舎」、南側の八幡平の麓には「後生掛(大沼)キャンプ場」と、いずれも中心の花輪から車で1時間以内で行ける距離で、豊かな自然に囲まれたキャンプができます。また、それぞれ温泉も楽しめます。

施設

八幡平ビジターセンター

国立公園八幡平の秋田県側、大沼の向いにある。4月上旬～11月上旬の間オープン。八幡平の自然環境を展示しているだけでなく、年間を通して八幡平の様々な楽しみ方を体験できるイベントを開催しています。スタッフもスペシャリストがそろっており、鹿角の自然の魅力余すことなく紹介してくれます。



スキー・スノーボード・そり

「八幡平スキー場」、「水晶山スキー場」、「花輪スキー場」の3つのスキー場があります。小学校や中学校ではスキー授業があり、小さいころから雪に親しんでいます。



雪上ハイク

雪山を滑るのではなく、スノーシューを履いて、ゆっくりと冬の山や大湯沼を見に行きます。冬の時期だけ見れる、雪が造り出す造形美や、たくましく生きる動物たちの痕跡を参加者とともに鑑賞することが可能です。



キャンドルナイトハイク

夜の雪上に灯りをともし、自然の時間を楽しみます。森の中にはいて、耳を済まして動物の生態を観察したり、夜空を見上げて月と星を見て時間の流れを体感します。最後には高い地点から全体の灯りを楽しみます。



CHILD CARE

子育て、保育

鹿角市は子育てがしやすい環境が整えられており、関係者の努力で日々向上しています

公立保育園

認定こども園 “あおぞらこども園”

愛生会 大湯保育園



鹿角市には公立の認可保育園が6施設あります。それぞれの地域性に合わせ、様々な特色があります。令和3年度において、市内の待機児童は0人。概ね希望通りの保育園に預けることができます。

保育所型認定こども園として平成27年度オープン。散策路としての機能をもつ周回路を設け、季節の移り変わりを楽しみながら成長できます。障害をもつお子様の受け入れも可。

どの保育室からも園庭に飛び出すことができ、子どもたちは一日中裸足で過ごし、遊びを満喫しています。自然に包まれている雰囲気をつくろうと、木材をふんだんに取り入れ、床材にはヒノキを使用。子どもたちは、その床を毎日ぞうきんがけしています。環境に自らを適応させていく保育方針も魅力です。

わんぱくはうす

地域とかかわりながら、のびのび育つ子どもたち。



市初の無認可保育園として平成11年に開設後、平成13年に認可を受けた秋田県初の個人立の認可保育園。お茶のお稽古やお絵描き教室、百人一首教室など、子どもたちは様々な刺激を得ながらすくすくと育っています。遊戯室は江戸時代からある蔵を改装。

例えば、花輪にあるさくら保育園などでは「花輪ばやし」、十和田の毛馬内保育園などでは「毛馬内盆踊り」。幼少期から地元のお祭りに自然と触れる環境があります。また、食育も充実していて、苗を地域の方からいただいたり、自分たちで市場に買いにいたりして育て、収穫までを体験するプログラムも行われています。園ごとに地域に根差した特色があります。

子ども未来センター



家族みんなが子どもと一緒に楽しめる施設として、地元の天然木を使った遊具と絵本を備えたプレイルームや託児室、授乳室も完備。毎月1回の育児講座や子育て中の保護者や祖父母の仲間づくりができるサークル活動も行われています。

開館時間 9:00～18:00

※年末年始を除く

児童センター



市内に居住する0歳～18歳未満のすべての児童に、健全な遊び場を提供するとともに、様々な遊びを通して仲間づくりや心身の豊かさを育むための施設です。図書コーナーや体育館、談話スペースがあり、いつでも遊びに来られます。自然体験やスポーツ・文化活動、調理ができるプログラムも定期的に実施。

8:30～18:00

※第3日曜、年末年始以外
利用料無料

ファミリーサポートセンター



地域の中で育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員になり、育児について相互援助を行う会員組織。保育施設や児童クラブ、学校に預けられない早朝や夜間、放課後、休日に子どもを預かったり、保育施設への送迎を行っています。子育てをする人が仕事と育児を両立し、安心して働けます。

7:00～19:00

※早朝、夜間は予約必要、割増料金
1時間400円～

公園がたくさん



中でも「鹿角総合運動公園（アルパス）」と「桜山公園」には、アスレチックやローラーすべり台など、未就学児から小学校高学年まで幅広く楽しめる遊具が充実しています。広々とした敷地内で子どもたちののびのびと遊べます。

病児、病後児保育 NAORE



市の中核病院である厚生病院内の専用の病児保育室、市立さくら保育園内の病後児保育室で行っています。
対象：生後8週間～小学校6年生
1日1,000円

休日保育



日曜日や祝日に、勤務の都合や、病気、入院等の緊急の場合の一時的な保育希望に応えるために、子ども未来センターでの休日保育を行っています。
対象：市内認可保育園入園児
1日2,000円、半日1,000円。

保育料ほぼ無償化



3歳以上児は保育料のほか副食費が完全無償化に加え、他市町村では対象外となる3歳未満児においても、所得や家庭環境により保育料が無料になります。（保育園・認定こども園・私立幼稚園・認可外保育施設の保育料及び副食費）

高校生までの医療費助成



乳幼児から高校生までの医療費かかる時期負担を全額助成します。（所得制限により自己負担が発生する場合、医療機関ごとに1,000円となります）

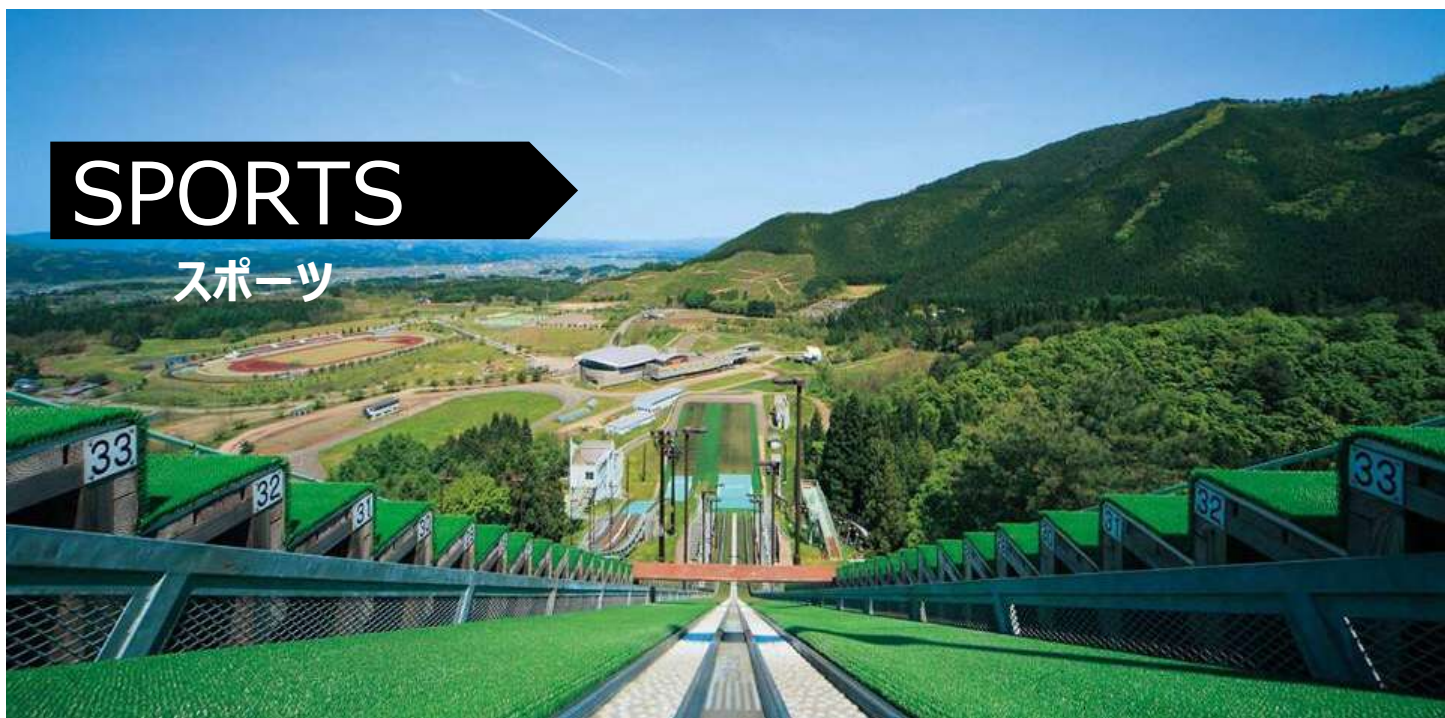
子育て応援リユース事業



子育て家庭の経済的負担の軽減と、子どもたちが生き生き暮らせる社会づくりを目指し、家庭で不要となった制服や学用品をリユースする取り組みです。

SPORTS

スポーツ



スポーツが盛んな鹿角ですが、特に「スキー」と「駅伝」に対しては特別なこだわりがあります。

スキーのまち

良質な雪が降り積もる鹿角には、スキー場が3つあります。全国屈指の充実したスキー環境は、世界で活躍する選手の育成にもつながっています。

花輪スキー場



アルペン、クロスカンтриー、ジャンプをひとつの会場で。数多くの全国大会開催実績があります。ビギナーからアスリートまで幅広く楽しめます。

八幡平スキー場



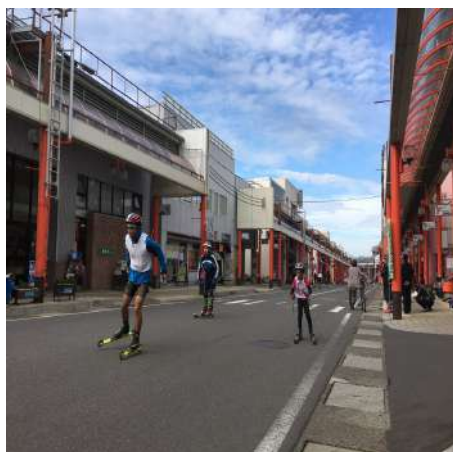
上質なパウダースノーを楽しみたいなら八幡平スキー場。なんと、プライベートグレンデ（貸切）での利用もできます。最長5月上旬までの営業。

水晶山スキー場



まちなかからも近く、多くの市民から愛されているスキー場。秋田県北部で唯一ナイター営業もしています。

雪がなくてもスキー！サマーノルディックスキー大会！



毎年10月頃、商店街特設コースと花輪スキー場を会場に『サマーノルディックスキー大会』を開催し、来る本格的なシーズンインに備えます。シーズン前の腕試しにと、全国各地から大勢の選手が訪れます。



駅伝のまち

戦争で疲弊したまちを再び活気づけたのが、戦後すぐに開催された駅伝でした。以来、鹿角では駅伝を通して、地元を大切に想う心がタスキとともに受け継がれています。

十和田八幡平駅伝



戦争からの復興と、世界で競える選手の育成を目指し、昭和23年に初めて開催。国内でも最も過酷といわれる真夏の駅伝。十和田湖から八幡平大沼までの起伏に富んだコースを会場に、全国から強豪実業団が参加し、しのぎを削ります。鹿角の子どもたちにとって憧れの舞台でもあります。

花輪町廻り駅伝



毎年終戦の日で開催される花輪地区伝統の駅伝大会。戦後すぐに、まちを盛り上げようと開催され、平成28年度に70回大会を迎えました。他にも八幡平地区、十和田地区と各地区にそれぞれ60年以上続く駅伝大会があります。

浅利純子杯鹿角駅伝



鹿角が生んだオリンピック選手浅利純子（旧姓）さんの名を冠した駅伝。商店街特設コースを会場に、市内外の小中学生が競い合います。近年は県外チームの参加も増え、夏のトレーニング成果を試す場として定着してきています。

ふるさとあきたラン



小学生から壮年までの各年代から選抜された男女混成チームで行われる、秋田県内25市町村対抗の駅伝。鹿角市チームは平成26年の第1回大会以降、常に3位以内に入っているだけでなく、第2回大会では優勝を果たしており、駅伝のまちの名にふさわしい結果を残しています。令和元年度には本市を会場に熱戦が繰り広げられました。



施設

総合運動公園アルパス

大自然に囲まれたさわやかな空気の中、スポーツを思いっきり満喫できるのが総合運動施設アルパス。気軽に利用できる充実した設備に気持ちのいい温泉や宿泊施設までそろったスポーツアミューズメントです。

各種競技の練習やスポーツ大会はもちろん、合宿、友達・仲間と楽しく遊スポ！、また温泉に來たり、食事をしに來たりと、目的に応じた楽しみ方が出来ます。



スポーツ関連団体

鹿角市体育協会

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1(鹿角市記念スポーツセンター)
TEL0186-23-5850

NPO法人 鹿角ウインプルスポーツクラブ (総合型地域スポーツクラブ)

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1(鹿角市記念スポーツセンター)
TEL0186-23-5850

鹿角市スポーツ少年団 (スキーやサッカー、バレーなど20団あります)

鹿角市スポーツ少年団本部
(鹿角市記念スポーツセンター指定管理者 NPO法人鹿角市体育協会内)
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1(鹿角市記念スポーツセンター)
TEL0186-23-5850

スポーツ合宿奨励補助



市内宿泊施設を利用したスポーツ合宿にかかる宿泊費を助成しています。一部大会を除く大会のための宿泊も対象。

- 1泊1人あたり1,000円～500円
- 1団体あたり上限20～10万円

スポ少認定員養成補助



スポーツ少年団や地域スポーツ団体の認定員等の資格取得に必要な受験料や旅費等の費用の一部を補助します。

- 対象経費の2分の1
- 1人1万円上限

ジュニアスキーヤー共通 シーズン券購入補助



市内の小中学生および市アルペンスポーツ少年団員のリフト使用料の一部を助成します。

- 市内3スキー場の共通シーズン券 (3万1千円相当) 1枚あたり1万8千円を補助

CULTUER

文化



ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財 花輪ばやし（8月19～20日）

花輪ばやしは、「産土神（うぶすな）さん」として古くから地域の信仰を集める幸稻荷神社の祭礼において奉納される、祭礼ばやしです。若者たちが一年で一番熱狂する、鹿角を代表するお祭りです。祭りの継承のため、参加者を広く募集し、後継者育成に取り組んでいます。



ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財 大日堂舞楽（1月2日）

八幡平小豆沢地区にある大日霊貴神社（オヒルメムチジンジャ、通称大日堂）で奉納される舞楽。718年から1300年間、地域住民の手によって大切に受け継がれています。



国指定重要無形民俗文化財 毛馬内盆踊り（8月21～23日）

秋田県三大盆踊りの一つに数えられ、情緒豊かで優雅な盆踊りです。豆絞りの手拭いで頬被りをし、かがり火を囲んで踊る輪踊りで、常に内側を向いて踊るのが特徴です。



秋田県指定無形民俗文化財 大湯大太鼓まつり（8月15日）

五穀豊穰への祈りと先祖への供養を兼ねて勇壮華麗に演じられます。直径約1.2m胴長1.5mもの大太鼓が50殻一同に会し、競演が繰り広げられます。



国指定特別史跡 大湯環状列石

縄文時代後期（約4,000年前）の遺跡。遺跡の中心には万座・野中堂のふたつの環状列石があり、石の下にはお墓とみられる穴が見つっています。また、環状列石のまわりにはたくさんの貯蔵穴や柱穴などが見つっています。遺跡からは土器や土偶、鐙型土製品などがたくさん出土しており、祈りとまつりの場であると考えられています。

▶R1.7.30 ユネスコ世界文化遺産（2021登録）へ国内候補となる「北海道・北東北の縄文遺跡群」として推薦決定。市内3つ目の世界遺産登録に向け期待が掛かります。



史跡 尾去沢鉱山

総延長800kmに及ぶ坑道の一部が見学可能です。尾去沢鉱山の発見は、奈良時代の和銅元年（708年）であると伝えられています。ある伝記では尾去沢鉱山の金が奈良東大寺の大仏鑄造に使われたと伝えられています。また、平安末期、藤原氏によって築かれた平泉の黄金文化に大いに貢献したと伝えられています。鉱山の隆盛は鹿角の文化形成に色濃く影響しています。



人間国宝 栗山文次郎 「古代鹿角紫根染・茜染」

鹿角の山野に自生する紫根・茜根の染め草から染料を抽出。下染をしてニシコオリ(サワフタギ)の木灰汁で100回以上染めてから約1年間布地を枯らし、その後本染に入り、染液に10回位繰り返して染める純粋な草木染です。

技術継承者の死去により一時途絶えていましたが、近年、鹿角紫根染・茜染研究会をはじめとする復活・伝承活動により、街中でもその美しい紫や茜の色を目にする機会が増えました。





鹿角市定期市場 (花輪朝市 : 毛馬内朝市 : 大湯朝市)

今から約400年前の江戸時代初期から始まったとされる花輪朝市。現在もその花輪朝市の歴史を受け継ぐ、鹿角市定期市場は3の日と8の日に開催されています。近隣住民だけでなく、観光客や、湯治客の台所として親しまれています。

※定休日:1月3日
臨時開場日:8月12日、12月30日

※市内他地区の定期朝市
毛馬内朝市 毎月2と7のつく日
大湯朝市 毎月4と9のつく日

※「道の駅かづの」や「JAかづの おらほの市場」などの施設にも直売所があるほか、市内スーパーマーケットでも直売コーナーが設けられています



きりたんぽ



秋田を代表する鍋料理「きりたんぽ」。実は鹿角市が発祥の地といわれています。毎年新米がとれる10月ごろ、地元民は「たんぽ会」を開いて楽しめます。

けいらん



こしあん入りの餅を鶏卵に見立てて、すまし汁に浮かべます。あんにクルミと胡椒が入るのが特徴です。具は卵そうめん、三つ葉、舞茸が入り、だし汁は昆布と削り節でとります。鹿角のお祝いの席にはかかせない料理です。





日本最古の鉱脈型銅鉱山で栄えた鹿角市。
運搬用の馬・牛もたくさんいたことから、鉱山労働者や出稼ぎ帰りの人たちにとっての栄養補給
減として、ホルモンが食べられるようになり、今では鹿角のソウルフードとなっています。

ホルモン



かづの牛

日本短角種であるかづの牛は、自然放牧・
自然交配・自然分娩をしています。肉質の
締まった「赤肉」は全国の和牛のわずか
0.5%。脂ではなくまさに「肉」を楽しむとい
ヘルシー牛肉。



八幡平ポーク

4系統の豚の良いところだけをかけあわせた
「四元交雑」種「ハイポー豚」です。
獣肉のようなニオイがしない。脂にコクがあり、
べたべたしない(さっぱりしている)。
赤身のきめが細かく、ジューシーで柔らかい。
調理後冷めても柔らかい。
肉質のばらつきが少ない。というのが特徴です。



鹿角の銘酒

明治5年創業。清新な気候と水による寒造
りに徹しています。地元産米にこだわり、すっ
きりとした端麗な味わいが魅力。
1月から3月は平日の午後に限り酒蔵見学
が可能です。地域の祭りにも欠かせない鹿
角を代表するお酒です。



淡雪こまち (米)

平成19年3月に秋田県の認定品種に採用さ
れました。モチモチした食感が特徴のおいしいお
米です。冷めてもおいしく、お弁当やおにぎり
にも向いています。中山間地(鹿角地域全域が
該当)での植栽に適している品種です。



北限の桃

南で桃のシーズンが終わるころに旬を迎える北
限の桃は、鹿角の昼夜の寒暖差により甘み
がたっぷり凝縮されています。
平成12年頃から当地域で適応性が確認さ
れ、遅出し出荷により高単価が期待できる北
限の桃を積極的に導入し産地化に取り組ん
でいます。



松館しぼり大根

「しぼり大根」は、鹿角市八幡平松館集落に
古くから栽培されている地大根。その「しぼり
汁」は独特の風味と極めて強い辛味があり、
おろし専用の大根として地域を代表する特産
物の一つです。長さは15から20cmと普通
の大根より短く、しっかりしています。



WORK

起業



まちなかオフィス

商店街の閉店したスーパーを市が買い取り、商店街と地域産業の活性化をめざして開設。
 企業向けレンタルオフィス2室と、起業・創業者向けの低価格なインキュベートルーム3室を提供しています。
 市外からの企業や移住者が転入して使用する場合は、企業の場合は入居から5年、移住者であれば最長3年間の入居期間は使用料無料。



商店街 空き店舗データバンク

商店街（花輪大町・新町／毛馬内）にある空き店舗の不動産情報を掲載。掲載されている空き店舗を利用し、起業をする場合においては、「起業・創業支援事業補助金」の限度額が70万円（通常50万円）となります。



鹿角ふるさとライフ 資格取得支援補助金

鹿角市に移住し、起業するための技能向上にかかわる資格取得等を考えている人向けの助成金。対象は地域おこし協力隊。資格取得にかかる諸費用が助成されます。年額30万円まで。



起業・創業支援 事業補助金

起業に際して必要となる経費（事業拠点費、事業開始時における原材料や試作品費、宣伝広告費、法人登記費）の2分の1以内、50万円を限度（法人設立の場合）として交付します。（写真は、本補助金を活用してカフェを開業した細井さん。東京からのUターン起業家）



AGRI

農業

就農支援



新規就農者 研修支援事業奨励金

市内で独立して新たに農業に取り組もうとする方で、指定の作物の研修者または農業生産法人や集落営農組織等で生産技術および経営技術の研修を受ける方が対象。奨励金：月額10万円 期間：最大12か月（写真は、2017年より就農した綱木さん。ミニトマトを栽培。）



フロンティア農業者 研修奨励金

新たに農業を始めるのに必要な技術を身につけるため、県農業研修センター等で研修する方に奨励金を交付しています。申請時の年齢が45歳未満で、研修終了後、市内就農が確実に見込まれる方が対象。奨励金：月額10万円 期間：4月から翌年度末までの2年間。



農業次世代人材 投資資金

次世代を担う農業者となることを志向する45歳未満の新規就農者に対し、農業経営が安定するまでの助成金として交付しています。また平成29年度より、45歳以上60歳未満のミドル就農者に対しても活用できるようになりました。補助率：年150万円（夫婦で対象となる場合は1.5倍）



新規就農 研修受入農家

市内には新規就農の研修受け入れを行っている農家さんがいます。りんごや桃などの果樹園など、扱う作物の希望に合わせて、農林課で受け入れ先をご紹介します。（写真は、佐藤秀果園の佐藤さん）



農業総合支援センター

地域の営農体制の充実・強化と、農業生産および経営の高度化を支援するための活動拠点施設として開設。各営農団体が会議室としても使用できる団体活動室や、加工農産物の施策研究が行える缶詰やビン詰製造や製粉、真空包装等の加工機器のある加工研究室等を備えています。

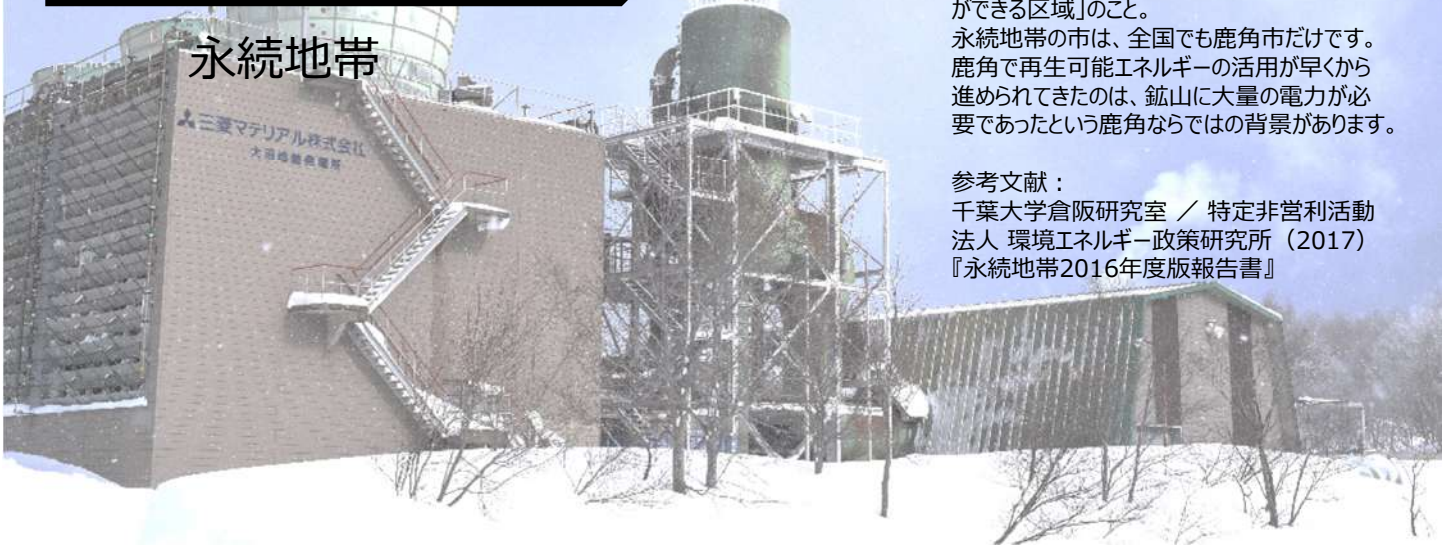


あぐりぽうと

鹿角の活力ある農業を支援する地域農業情報誌。様々な支援制度や助成金等の情報はもちろん、品評会や試食会などのイベント情報や不要な農機具の販売情報、新規就農者のインタビューなど、農業に従事している方たち向けのお役立ち情報を紹介しています。

SUSTAINABLE ZONE

永続地帯



全国有数の永続地帯

“永続地帯”とは「その区域で得られる再生可能エネルギーと食料によって、その区域におけるエネルギー需要と食料需要のすべてを賅うことができる区域」のこと。

永続地帯の市は、全国でも鹿角市だけです。鹿角で再生可能エネルギーの活用が早くから進められてきたのは、鉱山に大量の電力が必要であったという鹿角ならではの背景があります。

参考文献：

千葉大学倉阪研究室 / 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所（2017）『永続地帯2016年度版報告書』

電力の地産地消！

県内初の第3セクター「株式会社 かつのパワー」を設立

全国でも稀有なエネルギー永続地帯として評価されている本市。しかし、その豊富な再生可能エネルギーの恩恵を市民が享受しきれていないことから、「電力の地産地消による地域活性化」を目的に、市と地元企業等が出資し、オール鹿角体制で臨む、株式会社かつのパワーが設立されました。

（第3セクター方式での運営は、東北地方では4例目、県内で初。）

豊富な再生可能エネルギーによる電力を地域内に供給し、電力料金及びその利益を地域内で循環させ、地域の活性化を図るとともに、人口減少社会においても持続可能なまちづくりを目指します。



地熱発電

八幡平の山頂付近に澄川地熱発電所と大沼地熱発電所の2か所の発電所があります。澄川発電所は、それだけで鹿角の全世帯の電力をまかなえるだけの稼働能力を有しています。



水力発電

市内各地に13の発電所が点在し、豊富な水量で鹿角の電力自給率を支えています。明治時代に稼働を開始した発電所もあり、鉱山の存在を色濃く見ることができます。



風力発電

十和田地区の田代平という地域に設置されており、圧巻のスケールを誇ります。田代平での風力発電は、設備更新や新規参入の動きもあり、今後さらに発展する可能性があります。

鹿角市紹介動画

MOVIE

さあ、笑顔あふれる町へ。 秋田県鹿角市



鹿角市移住促進動画「さあ、笑顔あふれる町へ」



秋田県魅力発信動画
True North, AKITA. #4



農水省 農山漁村動画
「住まう人～秋田県鹿角市～」



Sustainable Japan
エネルギー・食糧自給地域持続地帯 鹿角市

移住コンシェルジュ公式YouTubeチャンネル



<お問い合わせ先>

秋田県鹿角市役所 総務部 政策企画課 鹿角ライフ促進班
担当: 木村 TEL: 0186-30-0208 E-mail : k-life@city.kazuno.lg.jp